

徳島大学「国際協力論－入門編」(2018年)日程と内容

No.	月日	講義名	主な内容(予定)	担当講師
1	4月11日(水)	問題提起と青年海外協力隊事業について	授業の概要、進め方の説明後、国際協力の必要性に関する問題提起のほか、SDGsなど基本的な用語、協力隊事業などについて解説する。	饗場和彦(徳島大学)
2	4月18日(水)	世界の格差を実感するワークショップとSDGs	受講生参加型のワークショップ(世界の格差、不公正を実感する「世界がもし100人の村だったら」とSDGsの概要説明。	滝下智佳 (NPO法人里山みらい・神山町地域おこし協力隊)
3	4月25日(水)	貧困の実態-フィリピンのごみ山で働く少女	テレビ番組のドキュメンタリーを見て、貧困地区での暮らしや人々の考え方について、受講者間で討論しつつ学ぶ。	NPO法人TICO事務局
4	5月9日(水)	紛争の実態-内戦下のウガンダで暮らす子ども	写真集『かぼちゃの下で-ウガンダ 戦争を生きる子どもたち』の著者から、武力紛争の実態と人々の苦悩について学ぶ。	桜木奈央子(フォトグラファー・「cinema stars アフリカ星空映画館」代表)
5	5月16日(水)	アフリカやアフガニスタンでの教育協力	ESDあるいはSDGsの理念と関連づけながら、教育分野における国際協力の現状と課題について、具体的な事例をもとに概説する。	近森憲助(鳴門教育大学特命教授、四国地方ESD活動支援センター長)
6	5月23日(水)	JICAの活動とODA(政府開発援助)	日本政府のODAを実施する機関としてJICAが行っている様々な活動を知り、ODAの意義と問題点を考える。	(JICA四国支部)
7	5月30日(水)	南米の貧困地区でトイレを普及させる活動	ホンジュラスで衛生的なトイレの普及をはじめ、村落の暮らしを改善するNGOの取り組みについて学ぶ。	林裕美(AMDA-MINDS ホンジュラス担当)
8	6月6日(水)	ザンビア初の心臓手術などを支援する医療協力活動	アフリカ・ザンビアで地域開発に25年携わる徳島のNPOが現在取り組んでいる活動について、その背景と実情を聞く。	松村武史(NPO法人TICO、医師)
9	6月13日(水)	JICA研修生との交流	徳島に来ているJICA研修生を招き、交流、意見交換を行う。現地の暮らしや社会を知ると同時に、コミュニケーション力(英語力)をつける。	JICA研修生
10	6月20日(水)	青年海外協力隊の活動	JICAの活動の一環として、日本の若者が青年海外協力隊に参加して発展途上国の現場で支援活動に取り組んでいる。その体験談を聞く。	青年海外協力隊OB/OG
11	6月27日(水)	社会起業家という仕事	ソーシャル・ビジネスについての紹介と、一例としてチャリティーショップの仕組みを学ぶほか、フェアトレードについても知る。	新田恭子(日本チャリティーショップ・ネットワーク共同代表)
12	7月4日(水)	難民・避難民問題とその支援活動	深刻化する世界の難民問題の現状と難民条約、国連難民高等弁務官事務所などの仕組み、日本の対応などを学ぶ。	中尾秀一((公財)アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部)
13	7月11日(水)	紛争地における人道支援の活動	武力紛争の最前線で医療や物資提供など中立的立場で人道支援に当たる赤十字国際委員会の活動や、国際人道法の基礎について学ぶ。	柴崎大輔(赤十字国際委員会政策担当)
14	7月18日(水)	民間企業による支援とBOPビジネス	小水力発電を活用した電気普及のための活動をはじめ、企業のとらむBOP、CSRの活動を知る。	金村智子(喜多機械産業(株)開発営業部)
15	7月25日(水)	総括と補足	受講生同士で授業で学んだ点、なぜ、どのように国際協力を行うか、などを議論しレポート内容について相互に検討。過去の優良レポート配布。	饗場和彦(徳島大学)
16	8月1日(水)	世界の紛争と貧困を知るための映画	国際協力や途上国の実態を伝える映画、ドキュメンタリーを見て、問題意識と知識を深める。	饗場和彦(徳島大学)